



334複合地区スローガン
輝く未来へ進化する
ライオニズム・ウィサーブ

334-B地区スローガン
“次なる100年へのバトンタッチ”
笑顔で地域と連携・ウィサーブ

岐阜西ライオンズクラブスローガン
青少年に夢を！ウィ・サーブ ウィ・スマイル

2017年 8月 第一例会 851回
8月8日(火) 於 ホテルグランヴェール岐山 12:15～

例会プログラム

第851回 ZCクラブ訪問例会

- 「例 会」 司 会 L.山口
1 開会ゴング 会 長 L.山田
2 国歌並びにライオンズクラブの歌斉唱
3 ゲスト及びビジターの紹介 接待委員長 L.山崎
ライオンズクラブ国際協会334-B地区
第1R 第3Z ZC L.水田 誠
ZCA L.杉野正次郎
4 慶祝行事(誕生祝) L.山田
5 アワード伝達 L.山田
6 会長挨拶 L.山田
7 ZCご挨拶
ライオンズクラブ国際協会334-B地区
第1R 第3Z ZC L.水田 誠
8 新会員候補者採決 会員委員長 L.熊澤光男
- < 食 事 >
9 幹事報告 L.堀
10 各委員会報告
11 テールツイスター登場 L.岩田
12 出席報告 出席大会委員 L.棚橋(義)
13 会計報告 L.大橋
14 閉会ゴング L.山田

会長・幹事報告

第851回 幹事報告

- 国際会費21.5ドル×50名×(レート112円)＝120,400円
家族会員国際会費10.75ドル×40名×(レート112円)＝48,160円をライオンズクラブ国際協会へ送金致しました。
- 8月7日(月)ガバナー公式訪問合同例会準備会議が岐阜グランドホテルに於いて開催され、ZCL.水田、ZCAL.杉野、会長L.山田、第一副会長L.広瀬(恵)、幹事L.堀、会計L.大橋、計画委員長L.山口、事務局の7名が出席致しました。
- 8月4日(金)ジュニアリーダー会協力金贈呈式が事務局において行われ、会長L.山田、幹事L.堀、会計L.大橋、社会福祉委員長L.篠田の4名が出席致しました。
- 事務局夏期休暇について
8月11日(金)～16日(水)
キャビネット、ゾーン事務局同じ。
緊急連絡先 幹事L.堀090-3448-0257まで

会計報告

ドネーション	14人	金額	90,000円
ファイン	1人	金額	5,000円
Boxファイン		金額	円
合計	15人	金額	95,000円

出席報告

会員数	50人
出席数	41人
出席率	82%

次回例会案内

日 時: 8月22日(火)12:15から
場 所: ホテルグランヴェール岐山
例会名: 入会式例会

慶祝行事

誕生祝 4日L.伏屋 智美 31日L.武藤 寛治

会長挨拶

会 長 L.山田 敏夫

昨日は、迷走台風5号が雨台風で無事通過しました。皆様のところは被害はありませんでしたでしょうか？

8月1日には、当クラブ最大のアクトである「鶴飼観覧の夕べ」が無事に終了致しました。会員皆様の献身的なご協力によりまして、成功致しました。天候に恵まれ、何と申しましてL.森田社会福祉委員長、L.日比野市民教育委員長が計画の段階から招待する団体の決定、依頼、打ち合わせなど準備も十分行っていましたし、当クラブ会員の役割分担等、アクト実行の直前まで何回も入念な打ち合わせを行っていただきました。その結果の賜物と認識しております。

8月4日に事務局におきましてジュニアリーダー会協力金の贈呈をさせていただきました。表彰状を披露致します。

また、本日はZCL.水田、ZCAL.杉野をお迎えしての例会です。ガバナー方針についてしっかりと伺ってまいりたいと思います。



特別記事

ZCクラブ訪問例会

Z C L.水田 誠



わたくしが今、担っておりますZCの仕事は、地区ガバナーの方針を正確にお伝えし、皆様のご理解を賜り、それぞれのクラブにおかれまして、会長様を先頭に実践していただくことだと存じます。

本年の334-B、地区ガバナー、三重の久居LC所属の日高邦彦ライオンのガバナー方針につきまして、少しご説明申し上げます。本年の334-B地区スローガンは、

“次なる100年へのバトンタッチ”

= 笑顔で地域と連携・ウィサーブ = でございます。ライオンズクラブ国際協会は、メルビン・ジョーンズの創立から100年を超え、私たちは次の100年への橋渡しのスタートにおいて、たいへん重要な使命を担っていることを、日高ガバナーは語られました。そして、その基本方針は5つあります。

1つ目は、**青少年に夢と生きる力を**です。「時代背景が変化する中、自殺、いじめ、薬物乱用など社会問題となっております。子供達に生きる力を、他人を思いやる心を、苦しみ立ち向かえる逞しい子が育つ環境を作らなければなりません。人づくりこそ国造り。目標を持ち、情熱を持って、生きる楽しさ、生きる素晴らしさの判る青少年を育てましょう。」と、ガバナーは呼びかけておられます。

2つ目には、**会員増強(GMT・GLT・FWT)は奉仕の力**です。「日本ライオンズクラブは数年来、クラブ数、会員数が減少しています。会員一人一人が、世界最大の奉仕団体のメンバーであることを誇りにもち、志を同じくする仲間を増やし、奉仕の輪を広げる」ためにも、ガバナーは各クラブ様での会員の2名の純増を求めておられます。また、家族会員におかれまして、新たな入会にお力を注いでいただくことに加え、現家族会員様にもクラブをお辞めになることがないよう、各クラブ様でのご尽力をお願いしたいと考えておられます。

3つ目には、**四献運動で救おう尊い命**です。あらためて「四献運動はライオンズクラブの無償の愛の奉仕により、人類が救われる重要な継続事業です。献血、献眼、献腎、骨髄移植など啓蒙活動を推進し、地域社会に命の尊さをPRし、善意の輪を広げる」ことを目指してまいります。

4つ目には、**地球環境保全に奉仕を**です。7月の九州北部における豪雨被害だけでなく、近年、「地球環境の変化により、多くの自然災害が発生しています。そのため森林、里山、河川は美しさを失っています。我々は高い理念と行動力で、緑化運動、河川の浄化、エコ活動などのアクティビティで豊かで美しい自然を守って」いくことを目指します。

5つ目には、**LCIFを通じて国際貢献**です。「LCIFはライオンズクラブが行う国際貢献活動の基礎を支えるものです。貧困のため飢餓や病気で苦しむ人、障がいのある人、災害に見舞われ困っている人達のために救助活動をしています。334-B地区では、総力を挙げてLCIFを積極的に推進し、各クラブの皆様には、各クラブで3口以上の\$1000献金のご協力をお願いしたい」とガバナーは願っておられます。



さて、ライオンズ国際協会が100年の年月を先人の真摯な努力により積み重ね、次の100年への大切なスタートを切ったこんにち、伝統と活力を兼ね備え持っておられる岐阜西ライオンズクラブ様の、今年一年が実り多い毎日となられ、山田会長を先頭に、さらなるご発展を遂げられますこと、僭越ではございますが、ZCとして心よりお祈り申し上げます。ありがとうございました。



アワードの伝達

L.志智慈朗

100周年記念
会員増強賞

おめでとう
ございます！



誕生祝 4日L.伏屋 智美 31日L.武藤 寛治
おめでとうございます！



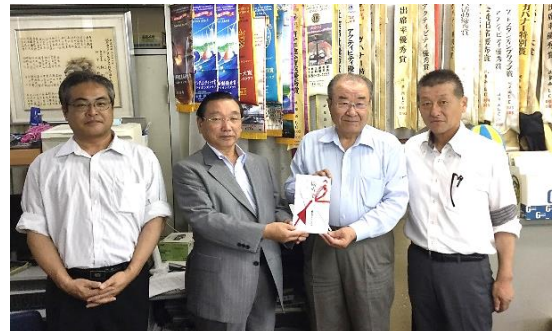
委員会報告

岐阜市スポーツ少年団ジュニアリーダー会協力金贈呈

平成29年8月4日(金)岐阜西ライオンズクラブ事務局におきまして、岐阜市ジュニアリーダー会への協力金の贈呈を行いました。岐阜市ジュニアリーダー会代表 石居幸雄様をお迎えし、会長のL.山田、幹事のL.堀、会計のL.大橋、LQ委員長のL.篠田が同席しました。会長のL.山田より協力金を贈呈し、代表の石井様より感謝状をいただきました。

今回で17回目を迎え、さらに児童の育成を含めたリーダーの養成を進めていきたいとのお言葉をいただき閉式となりました。

ライオンズクエスト委員長 L.篠田浩之



薬物乱用防止「ダメ。ゼッタイ」教室開催 岐阜県立岐阜聾学校

ライオンズクエスト委員長 L.篠田浩之

平成29年7月6日(木)岐阜県立岐阜聾学校にて薬物乱用防止出前講座を開催しました。L.大橋、L.迫立、L.久世、L.堀、L.三林が参加しました。14:30より認定講師のL.大橋の隣に聾学校教師が立ち、その方の手話を交えながらの講義で進んでいきました。認定講師は、プロジェクターのスライドを利用しながら、ゆっくりとした口調で語り、話す時の口の開閉も、あえて大きく分かりやすくし、聾学校生徒に配慮した講座でした。



中等部12名、高等部29名、大学生8名(介護体験実習)教師32名を対象に行いました。

薬物乱用防止「ダメ。ゼッタイ教室」開催 岐阜市立精華中学校

ライオンズクエスト委員長 L.篠田浩之



平成29年7月1日(土)岐阜市精華中学校において、薬物乱用防止出前講座を行いました。L.井ノ浦、L.大橋、L.後藤(さ)、L.篠田、L.三林、L.山田が参加しました。全校生徒692名と教職員56名の方に対して、薬物とは一体何か、その使用の危険性、使用者の状況などを講義した後、実際に薬物に手をだしてしまう状況などをDVDから学び、拒否する事案をロールプレイングという形で説明しました。特定の薬物を使用することだけが「薬物乱用」にあたるわけではないこと、自宅にある常備薬、医師から処方された薬、使用しなくなった薬の用法や用量を正しく行わないことも「薬物乱用に該当する」と認定講師が話しました。

また、「俗称」で言葉巧みに近づいてくることも説明し「薬物を勧めてきた時点で友達ではない」「自分の身は自分で守る」上でも、「はっきりと断る勇気をもたなくてはいけない」ことを学ぶ場としました。

講義後は別室に移り、保護者50名を対象に、子供が薬物を使用した場合の対処などを約1時間講義しました。



鵜飼観覧の夕べ

社会福祉委員長 L.森田 勝也

市民教育委員長 L.日比野憲道



8月1日(火)岐阜市長良川に於いて開催。岐阜県立岐阜盲学校(生徒・保護者・教員)23名、岐阜県立岐阜聾学校(生徒・保護者・教員)16名、岐阜市立岐阜特別支援学校(生徒・保護者)20名、岐阜市母子寡婦福祉連合会親子40名、日本児童育成園他、市内及び近郊の児童福祉施設(生徒・職員)58名、岩野田スポーツ少年団サッカーチーム(選手・保護者・指導者)31名、岐阜大学留学生(学生・職員)25名を無料招待しました。岐阜の伝統文化を目の当たりにすることで、少しでも地元の青少年に誇りに思ってもらいたいとの願いを込め、子ども達に伝統ある「岐阜長良川鵜飼」の歴史や文化を体験していただくこと、又クラブ員との交流を通してライオンズの奉仕活動を理解していただく目的で開催し、今年で20年目の継続アクトです。



今年は天候にも恵まれ、日暮は暑さも和らぎました。観覧船に乗りこんだ招待者は、鵜匠から鵜飼についての説明を聞いた後、かがり火の下で鵜と鵜匠によって繰り上げられる伝統漁法を目の前で見ることができました。

鵜飼を見つめる子ども達に、岐阜への郷土愛が育まれることを願い、全員アクトが無事終了致しましたことを感謝申し上げます。ご協力ありがとうございました。